



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 セブンシーズホールディングス株式会社
コード番号 3750 URL <http://www.sshd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長
四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

(氏名) 藤堂 裕隆
(氏名) 関 裕司

TEL 03-5771-8531

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	814	60.8	2	—	0	—	△9	—
25年3月期第1四半期	506	△22.1	△129	—	△140	—	△107	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △9百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △105百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△0.11	—
25年3月期第1四半期	△1.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	2,611	1,779	68.2	21.53
25年3月期	2,686	1,789	66.6	21.65

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 1,779百万円 25年3月期 1,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	51.1	250	—	150	—	130	△14.5	1.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期1Q	97,498,824 株	25年3月期	97,498,824 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	14,846,455 株	25年3月期	14,846,455 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	82,652,369 株	25年3月期1Q	54,215,671 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日)における我が国経済は、アベノミクスを背景とした円安・株高等、企業を取り巻く環境に明るい兆しが見えはじめました。しかしながら、新興国の景気減速や輸入原材料価格高騰といった側面もあり、依然として不透明な状況で推移しました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、各事業において事業基盤の整備・拡充、ならびに各事業領域における事業構造の転換、競争力強化、収益性向上に鋭意取り組み、より付加価値の高いサービス、ソリューションの創出とお客様へのご提供を積極的に図ってまいりました。この結果、前連結会計年度より事業を開始したサービサー事業が売上に貢献したことにより、当社グループの当第1四半期連結累計期間における連結売上高は814百万円（前年同四半期比60.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔メディア&マーケティング事業〕

出版関連におきましては、広告代理店業務及びコンビニエンスストア向け商材の委託出版物が堅調に推移し、返品も想定内となった結果、売上高287百万円（前年同四半期比42.5%増）となりました。

〔カードソリューション事業〕

タクシー会社向けカード決済端末サービスは、新規導入も一定数あったことから順調に推移し、売上高188百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

〔サービサー事業〕

債権管理回収業に関する特別措置法第3条に基づく法務大臣の許可を取得し、同法に定める債権回収会社として債権の買取り及び回収業務を行った結果、売上高338百万円となりました。

損益面につきましては、営業利益は2百万円（前年同四半期は営業損失129百万円）となり、サービサー事業に係る創立費及び開業費償却の計上等により経常利益は0百万円（前年同四半期は経常損失140百万円）となりました。また、法人税等を計上したことにより、四半期純損失は9百万円（前年同四半期は四半期純損失107百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,332百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が前連結会計年度末に比べ増加したものの売掛金、買取債権及び未収入金が減少したことによるものです。固定資産は254百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が13百万円減少したことによるものであります。繰延資産は23百万円となりました。

この結果、総資産は、2,611百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は817百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円減少いたしました。これは主に預り金が34百万円減少したことによるものであります。固定負債は13百万円となりました。

この結果、負債合計は、831百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月17日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第1四半期連結累計期間においては、営業利益2百万円を計上しておりますが、平成20年3月期から平成25年3月期まで継続して営業損失を計上していることから、継続企業の前提に関する重要事象が存在しております。

当該重要事象等を解消すべく、以下のとおり対応しております。

①メディア&マーケティング事業

メディア（出版）事業においては、これまで自社媒体を出版する事業モデルから、出版コンサルティング事業、雑誌販売営業、広告代理店業務といった出版に関するインフラ提供へと収益の軸足をシフトしております。出版物の返品リスクを排除し、安定的な収益基盤を有する事業モデルへと転換を実現しており、コンビニエンスストア向け商材や営業代行業を強化し、安定的な収益が見込める事業を展開してまいります。

②カードソリューション事業

当事業においては、平成23年3月期第1四半期連結累計期間より黒字化を実現しております。引き続き営業強化を行うことに加え、更なる収益向上に向け、決済メニューの多様化及び新規顧客の獲得を行ってまいります。

③サービサー事業

法務大臣許可を平成24年5月10日に取得し、大規模なシステム及び人員体制が要求される小口債権は取扱せず、不動産担保付債権を主とした債権の買取り及び回収業務を行っております。当第1四半期連結累計期間に営業黒字化を実現し、安定して収益を上げられるよう鋭意努力してまいります。

④経費削減

経費全般について全面的な見直しを行い、引き続き固定費の圧縮を実施しております。

各事業における上記の施策を講じることにより、収益性の改善を図っております。また、事業効率の向上及び固定費削減、法務関連費用、人的資源の再編等も含めたコスト削減も実施していく予定であり、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しておりますので、四半期連結財務諸表において、継続企業の前提に関する注記は記載しておりません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	277,922	415,018
売掛金	816,622	763,138
買取債権	731,692	670,869
たな卸資産	26,560	28,763
未収入金	463,118	382,594
その他	80,631	77,160
貸倒引当金	△4,704	△4,595
流動資産合計	2,391,843	2,332,949
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,419	2,344
工具、器具及び備品（純額）	185,214	171,546
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	187,633	173,890
無形固定資産		
のれん	49,962	46,393
その他	13,526	12,777
無形固定資産合計	63,488	59,170
投資その他の資産		
破産更生債権等	337,594	337,294
その他	29,880	34,096
貸倒引当金	△350,491	△349,490
投資その他の資産合計	16,983	21,899
固定資産合計	268,105	254,961
繰延資産	26,944	23,595
資産合計	2,686,894	2,611,505

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	286, 123	271, 310
未払費用	274, 419	271, 922
その他	323, 693	274, 539
流動負債合計	884, 235	817, 772
固定負債		
退職給付引当金	13, 636	13, 878
固定負債合計	13, 636	13, 878
負債合計	897, 872	831, 650
純資産の部		
株主資本		
資本金	3, 668, 857	3, 668, 857
資本剰余金	1, 265, 950	1, 265, 950
利益剰余金	△277, 325	△286, 490
自己株式	△2, 868, 460	△2, 868, 460
株主資本合計	1, 789, 021	1, 779, 855
純資産合計	1, 789, 021	1, 779, 855
負債純資産合計	2, 686, 894	2, 611, 505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	506,310	814,001
売上原価	402,707	632,531
売上総利益	103,602	181,469
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	70,228	57,196
その他	162,693	121,893
販売費及び一般管理費合計	232,922	179,089
営業利益又は営業損失(△)	△129,319	2,380
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	27,485	1,109
その他	10,387	1,802
営業外収益合計	37,873	2,912
営業外費用		
創立費償却	1,498	1,498
開業費償却	1,234	1,851
その他	46,558	1,168
営業外費用合計	49,290	4,517
経常利益又は経常損失(△)	△140,736	775
特別利益		
受取設備負担金	35,355	—
特別利益合計	35,355	—
特別損失		
投資有価証券評価損	1,616	—
特別損失合計	1,616	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△106,997	775
法人税、住民税及び事業税	862	2,532
法人税等調整額	—	7,408
法人税等合計	862	9,940
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△107,859	△9,165
四半期純損失(△)	△107,859	△9,165

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△107,859	△9,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,938	—
為替換算調整勘定	△8,763	—
その他の包括利益合計	2,175	—
四半期包括利益	△105,684	△9,165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△105,684	△9,165

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア& マーケティング事業	カードソリューション事業	データセン ター事業	サービサー 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	201,422	182,371	122,516	—	506,310	—	506,310
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	201,422	182,371	122,516	—	506,310	—	506,310
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△110,024	21,430	9,687	△10,440	△89,347	△39,972	△129,319

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△39,972千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア& マーケティング事業	カードソリューション事業	サービサー 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	287,092	188,647	338,261	814,001	—	814,001
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	287,092	188,647	338,261	814,001	—	814,001
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△6,960	32,571	7,653	33,264	△30,884	2,380

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△30,884千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、データセンター事業を営むDR Fortress, LLCを売却したことにより、同事業から撤退しております。